



# あずまがわ

所沢市立東中学校 校長 結城 尊弘 令和5年4月10日発行

【生徒数：1学年172名 2学年148名 3学年170名 7組13名 合計503名】

## 令和5年度 入学式式辞 「1度しかない中学時代をどのように過ごせばよいか」

春爛漫の季節となりました。175名の新入生の皆さん、入学おめでとうございます。自立と貢献を掲げる東中には「自分が成長する、変わるチャンス」が溢れています。3年後、自信と誇りを持ち、生きる力を身につけた生徒となって羽ばたいてくれることを期待しています。

さて、これからの3年間、「何者にもなれるがまだ何者でもない」という、可能性と不安が入り混じった中学時代を過ごしていきます。そのことを考える上で、**3つの心がけ**をお話します。

**一つ目**ですが、世界には今もなお、戦火が絶えず軍事力におびえて過ごしている地域があります。そうした世界で過ごす子供たちに思いをはせたとき、この日本で中学校に入学できたということは、恵まれていると思います。大事なことは「**自分が恵まれていると自覚したら、何をするのか**」ということです。恵まれた中で得た力を、誰のために使うのか、自らが自覚し、感謝し、社会のために何ができるかを本気で考え、中学時代のうちに自らに問い、決意を固めることが第一の心がけです。

**二つ目**は「**人生をかけての志を持て**」ということです。「君は自分の人生をかけて、何を成し遂げようとしていますか」と問われ、あなたは答えられますか。12歳ではまだ難しいかもしれません。しかし、中学時代に、その問いかけに向き合い、自分の人生をどうするのかという志を立てることが重要です。東中生には、人類が直面している課題を解決する創造的なアイデアと幅の広い柔軟な見方をもち、様々な分野で「社会に貢献するリーダー」になってほしいと願っています。

**三つ目の心がけ**として、それでは具体的にどうすればよいのかというお話をします。それは、「**自ら調べ自ら考えよ**」ということです。この積み重ねをどれだけできたかが、人生を豊かにすることにつながります。言い換えれば、「自調自考」は、人生を生きるためのエンジンとなります。中学時代のうちに自身の中にしっかりとこれを装着できるかということです。学びは決して人から与えられたから学ぶというのではなく、自らの「好奇心」や「向上心」をもとに、仲間とも対話を重ねながら学ぶものです。また、正解に早くたどり着くことが学びではなく、簡単に解決できない正解のない問題をどう解決しようかと、考え、みんなで取り組めるようにしていくことが学びの本質です。

一方で、学びに関して、陥りやすい落とし穴があります。心をこめて二つアドバイスをします。

**一つは「基礎基本を軽視しない」**ということです。武道や芸道では、「守破離」と言われ、上達するには、まずは型を守り、次に型を破り、最後に型から離れて自分の個性を発揮する段階があります。つまり、自分で考え、個性を発揮しようといっても、基礎基本が型として守られるようになるまで、反復して身につける必要があります。基礎基本を軽んじてはいけないということです。「守」の段階である中1の勉強では、日々の授業や予習・復習に、本気で取り組んでほしいと思います。

**二つ目は、「知識」だけでなく「知恵」も身に付けよう**ということです。知識というのは、机上の学問、本を読んだり授業を聞いたりして頭の中に蓄えるものです。「知恵」は体験を通して体得される生きた知識や感覚です。つまり「知恵」を身につけるためには、学校生活でいえば、授業以外に、部活動や学校行事、さらに学校外の生活などを通して、自分の世界を大きく広げていくことです。

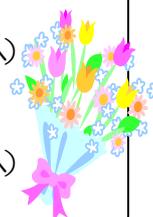
以上、新入生への歓迎の言葉として、**一度しかない中学時代をどのように過ごせば良いのか**という点について、大きく三つのことお話ししました。

終わりになりますが、アメリカの詩人ウィルコックスの「人生の嵐」という詩を贈りたいと思います。「**吹いている風が全く同じでも、ある船は東へ行き、ある船は西へ行く。進路を決めるのは風ではない。帆の向きである。人生の航海でその行く先を決めるのは、風でもなければ、嵐でもない。魂の構えである。**」人生に刺激を与えてくれる先生方との出会いや、これからの人生を共にする仲間たちとの出会いがあります。ぜひ東中に吹いている素晴らしい風をとらえて、価値ある人生の基盤をつくってほしいと心から願っています。3年後、自らの信ずる道を切り拓くことを願い、私の式辞とさせていただきます。【要旨抜粋】

## 令和5年度人事異動

### 《転出・退職等職員》お世話になりました！

教諭：下田 定弘 (文部科学省在外教育施設派遣教員 ブラジル・リオデジャネイロ日本人学校 3年間)  
 教諭：村田 竜起 (志木市立志木中学校へ) 初任者指導教員：松尾 和人 (任期満了)  
 教諭：中野 友莉 (宮城県登米市立豊里中学校へ) 心のあふれあひ相談員：宮崎 厚子 (美原中学校へ)  
 教諭：阿部 豊 (柳瀬中学校へ) 市事務：池田 彩 (ご退職)  
 教諭：向井由紀子 (県立所沢特別支援学校へ) 学校司書：富永 理恵 (ご退職)  
 教諭：鈴木麻利乃 (ご退職) 給食配膳員：坂田真理子 (宮前小学校へ)  
 養護教諭：市川かなえ (狭山市立広瀬小学校へ) 県スクールカウンセラー：橋倉 正 (他市異動)



### 《転入職員》ようこそ 東中学校へ よろしくお祈りします！

教諭：後藤 正行 (技術・数学 新採用 坂戸市立若宮中学校より)  
 教諭：稲葉 一希 (理科・新採用 新卒) 初任者指導教員：依田 伸二 (所沢小学校より)  
 教諭：小菅 七海 (国語・新採用 新卒) 市事務：未定  
 教諭：帯杓清代美 (英語・北野中学校より) 心のあふれあひ相談員：田中りん子 (新採用)  
 教諭：大場 鴻文 (社会・南陵中学校より) 学校司書：堀内 成美 (新採用)  
 教諭：山田 葵 (保健体育・狭山ヶ丘中学校より) 給食配膳員：大橋 裕子 (新採用)  
 養護教諭：緑川 亜美 (南小学校より) 県スクールカウンセラー：新井 雅美 (新採用)



### 令和5年度の学年担当等 校長：結城 尊弘 教頭：佐々木友和 教務主任：佐藤 渉 (社会)

	第1学年		第2学年		第3学年		特別支援学級(7組)	
主任	中井 愛	体	本橋 史織	理	古木 宏司	英	相原 凜花	
1組	馬場 明義	数	榎本 孝弘	体	杉山 智樹	理	7-1担任	安達 優太
2組	鈴木 直道	英	齊藤 優	数	原田 茉耶	数	7-2担任	山田 葵
3組	稲葉 一希	理	小菅 七海	国	二反田 隼	体		
4組	大平 葉月	国	遠藤 美麗	社	吉永美音里	家		
5組	加藤 裕子	音			佐藤 潤也	国		
副担任	帯杓清代美	英	舘 政弘	英	伊藤 和子	美		
副担任	大場 鴻文	社			後藤 正行	技数		



#### 学年外

養護教諭	緑川 亜美	介助員	永野 明美	庁務手	浅野 栄子
事務(県)	原田 淳子	相談員	田中りん子	庁務手	佐々木 博
事務(市)		学校司書	堀内 成美	給食配膳員	島田愛美子
初任者指導	依田 伸二	英語指導助手	マーク・ウッド	給食配膳員	佐藤 朋子
学習支援員	金子 秀樹	県スクールカウンセラー	新井 雅美	給食配膳員	大橋 裕子
特別支援教育支援員	黒岩 陽子	市スクールカウンセラー	三井 梓実	ICT 支援員	小森谷亮介

### 新学期以降の学校におけるマスク着用の考え方を見直し等について

#### 1 マスク着用の考え方を見直しについて

「生徒及び教職員については、学校教育活動に当たってマスクの着用を求めないこととする」とされ、学校におけるマスク着用は原則不要とされました。本校では、市の方針に従い、基本的感染対策を行い、教育活動を確実に進めて参りますので、ご理解ご協力をお願いします。

#### 2 朝の健康観察(検温)の継続 (各ご家庭での健康観察は、毎朝 Google フォームで報告願います)

※頭痛、発熱等風邪症状のある場合や家族に同様の症状がある場合は、無理せず学校を休むこと

#### 3 給食(前向き給食継続、ランチョンマット使用、手洗い ※給食当番は配膳時マスク着用)

#### 4 部活動(朝練習なし、平日2時間程度、休日は3時間程度土日どちらか、ただし大会1カ月前はその限りでない)

【お願い】変化の大きい新学期。我が子の様子に気配り。「頑張ったね」等、肯定的な声掛けを！